九州建設技術フォーラム 2014 in 福岡　開催報告

１．九州建設技術フォーラム主旨

九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取り組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で 技術情報のプレゼンテーションや展示、意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる 建設技術の発展を目指すものです。

今年は、建設技術の進化・進展の状況をより身近に感じ、体験していただくために、実演・体験の専用ブースを設けたほか、建設ロボットに代表される建設現場における無人化施工に着目し、記念講演では同テーマを踏まえた内容としました。

２．開催結果

【開催日時】　１日目：平成 26 年 10 月 22 日（水）　13:00～17:15
　　２日目：平成 26 年 10 月 23 日（木）　10:00～16:30

【開催場所】　福岡国際会議場　１Ｆロビー、2Ｆ多目的ホール、3F メインホール
　　(福岡市博多区石城町)　TEL.092-262-4700

３．実施内容

●1 日目（22 日）

（１）基調講演

・演題：「建設技術開発への新たな視点」

・講師：嘉門雅史氏（京都大学名誉教授）

（２）技術情報提供

１）プレゼンテーション

・時　間：発表時間 10 分　質疑応答・入れ替え時間 5 分

・テーマ：「環境」「防災」

・発表数：24 テーマ（発表者数 21 者）

（企業・協会等：17　学会関係：2　行政（国）：1　行政（地方自治体）：１）

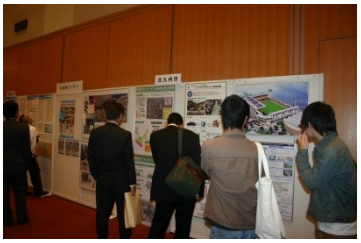
※学会：地盤工学会九州支部、土木学会西部支部

※行政：北九州港湾空港整備事務所　福岡県

2）ポスターセッション

・出展数：11

（企業・協会等：2　学会関係：4　行政（国）：1　行政（地方自治体）：4）



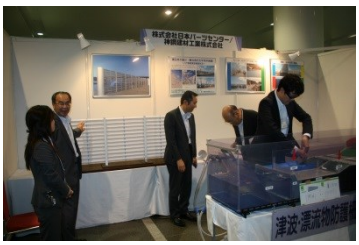
3）技術情報の展示

・テーマ：「安全」「環境」「コスト」「品質」「ICT」「防災」　学会関係

・出展数：103 ブース（出展者数：1 階 11 者　2 階 92 者　計 103 者）

▼２階展示会場

▼１階展示会場



4）新技術相談

・下関港湾空港技術調査事務所、九州技術事務所、九州地方整備局施工企画課・港湾空港部の 4 部署による新技術の相談

●2 日目（23 日）

（1）記念講演

・演題：「高まる建設ロボットへの期待～建設ロボットの現状と今後の展望」

・講師：建山和由氏（立命館大学理工学部教授）

（２）技術情報提供

１）プレゼンテーション

・時　間：発表時間 10 分　質疑応答・入れ替え時間 5 分

・テーマ：「品質」「コスト」「安全」「ICT」「学会関係」「行政関係」

・発表数：28 テーマ（発表者数 25 者）

（企業・協会等：22　学会関係：1　行政（国）：1　行政（地方自治体）：１）

※学会：九州橋梁・構造工学研究会

※行政：九州技術事務所　熊本県

２）ポスターセッション

・出展数：※1 日目共通

３）技術情報の展示

・テーマ：「安全」「環境」「コスト」「品質」「ICT」「防災」　学会関係

・出展数：※1 日目共通

▼２階展示場

▼１階展示会場

４）新技術相談

※1 日目共通

４．入場者数

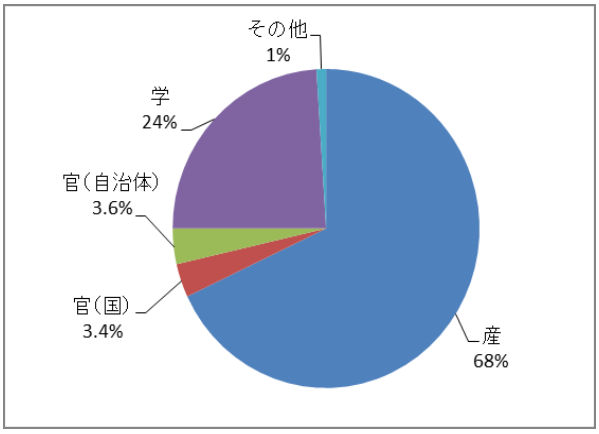
■ブース展示会場来場者数

出 身	22日	23日	合 計
福岡県	914	1,215	2,129
佐賀県	124	40	164
長崎県	17	14	31
大分県	19	23	42
熊本県	31	35	66
宮崎県	6	10	16
鹿児島県	34	12	46
沖縄県	0	1	1
山口県	10	10	20
徳島県	1	0	1
広島県	3	4	7
兵庫県	0	3	3
大阪府	16	19	35
京都府	1	0	1
香川県	1	0	1
和歌山県	2	2	4
愛知県	2	3	5
岐阜県	1	2	3
福井県	4	0	4
静岡県	0	1	1
神奈川県	3	0	3
東京都	37	36	73
埼玉県	4	4	8
山形県	2	2	4
新潟県	1	0	1
北海道	5	2	7
不明	4	2	6
小 計	1,242	1,440	2,682

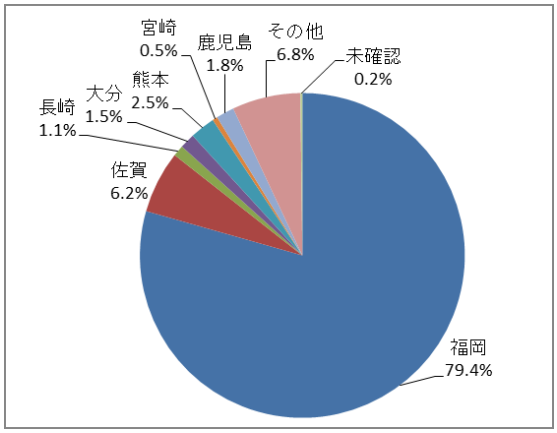
■講演・プレゼン来場者数

		22日	23日	合 計
講演来場者		750	600	1,350
プレゼン聴講者	A会議場	382	552	934
	B会議場	237	458	695
	小 計	619	1,010	1,629

【入場者内訳】



【企業入場者内訳】



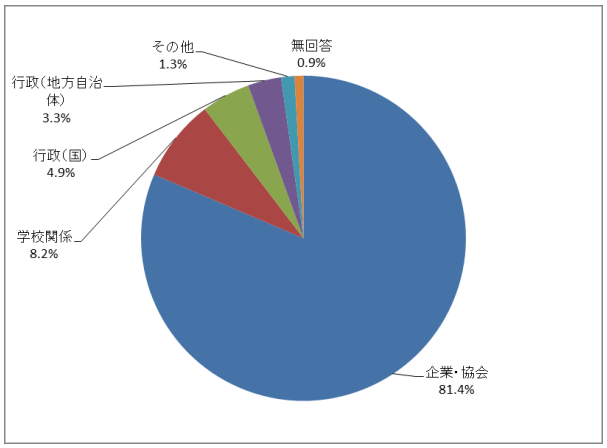
5．出展方法および所属団体別

属性		出展機関所属団体	出展・参加者数
ブース展示	産	日本建設業連合会九州支部	8
		日本道路建設業協会	2
		日本建設機械施工協会	4
		日本橋梁建設協会九州事務所	1
		プレストレストコンクリート建設業協会	1
		全国特定法面保護協会	6
		九州コンクリート製品協会	3
		建設コンサルタンツ協会	14
		その他	63
	学	土木学会西部支部	1
		地盤工学会九州支部	1
		九州橋梁・構造工学研究会	1
	機関 発注	（独）土木研究所寒地土木研究所	1
		西日本高速道路	3
	計		109
プレゼンテーション	産	日本建設業連合会九州支部	4
		日本道路建設業協会	2
		日本建設機械施工協会	2
		日本橋梁建設協会九州事務所	1
		日本埋立浚渫協会	1
		全国特定法面保護協会	2
		九州コンクリート製品協会	2
		建設コンサルタンツ協会	6
		その他	22
	学	土木学会西部支部	2
		地盤工学会九州支部	2
		九州橋梁・構造工学研究会	2
	行政	福岡県	1
		熊本県	2
	機関 発注	九州技術事務所	2
		北九州港湾・空港整備事務所	1
		（独）土木研究所寒地土木研究所	2
	計（コマ）		56

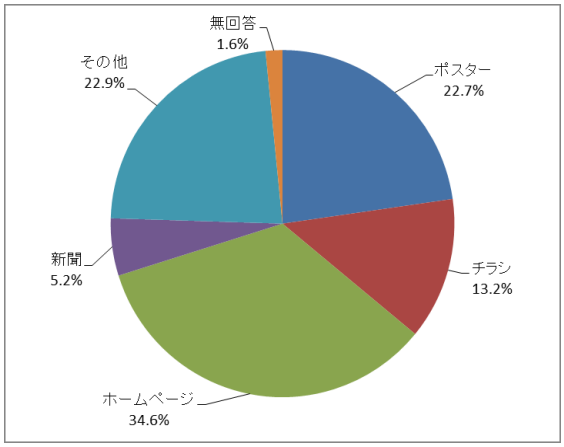
６．来場者等へのアンケート調査結果

【来場者アンケート】

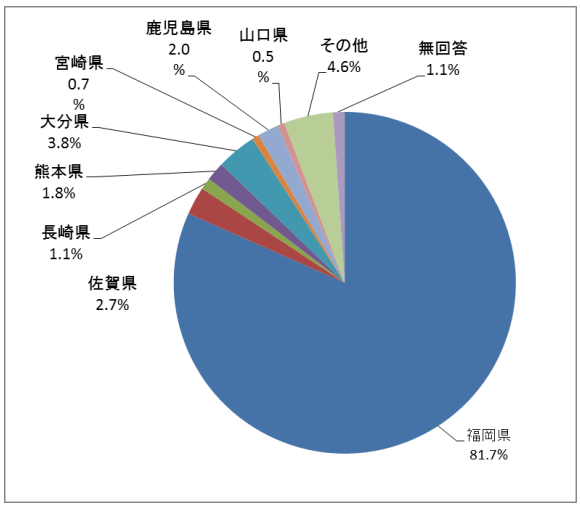
●職業は？



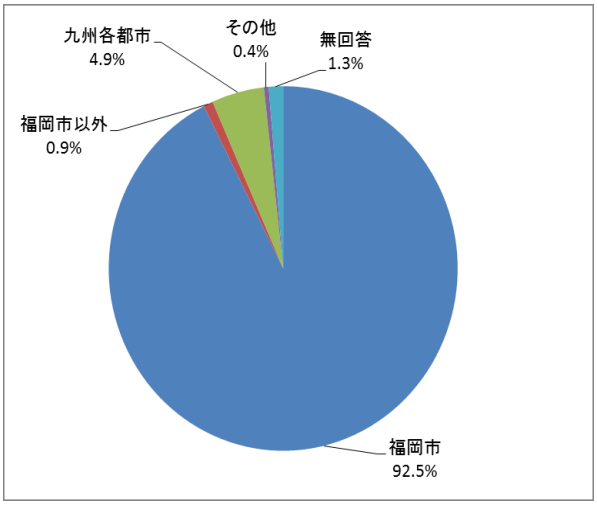
●何で知りましたか？



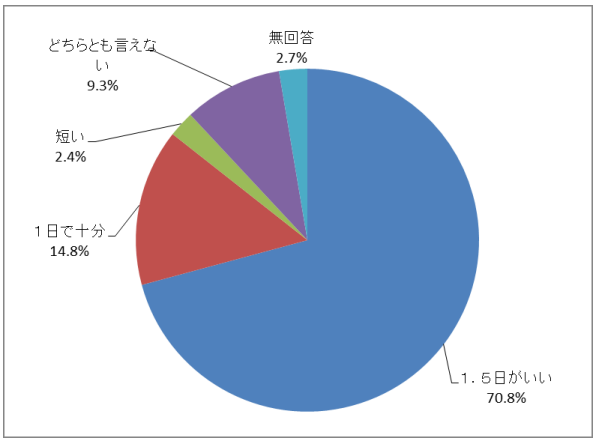
●どちらから来られましたか？



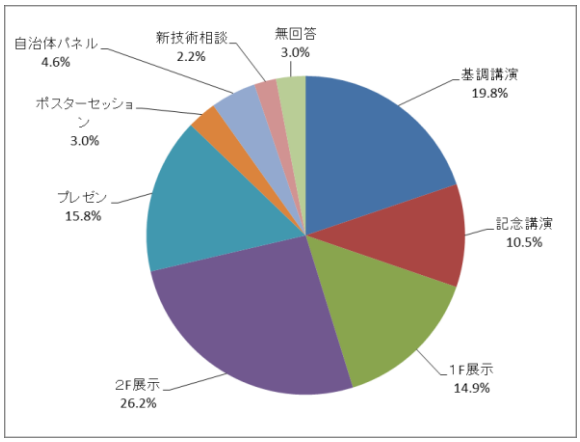
●望ましい開催地は？



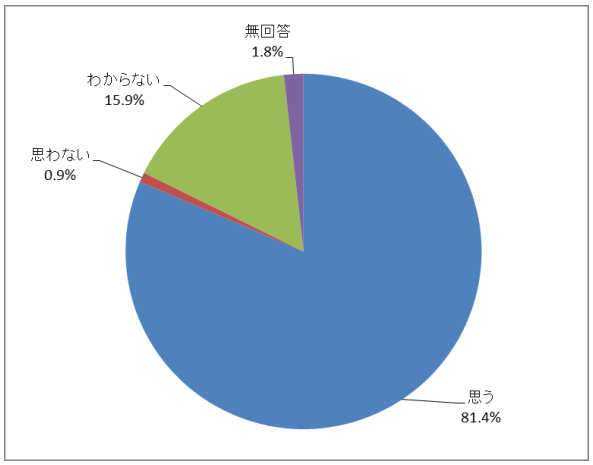
●開催日数の希望は？



●印象に残ったプログラムは？



●今後参加したいですか？

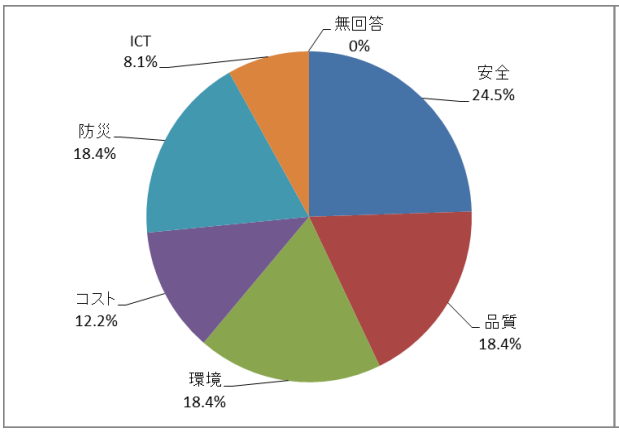


●フォーラムへの主な要望

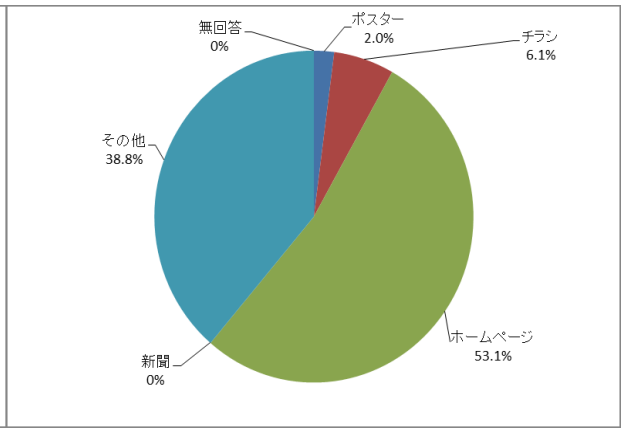
・継続して欲しい。（他5件）
・基調講演等を増やして欲しい。
・通路が狭いので、他社のブースと重なり合う感じで説明を聞きました。
・休憩スペースが少なく座って休む場所を探すのに苦労しました。足が悪い来場者にも配慮いただければありがたいと思っております。
・講演プログラムは午後に設定して欲しい。
・構造物維持管理に関する技術情報の展示をして欲しい。
・受付の看板　→　入り口付近で（官）及び（学・一般）、奥で（産）の表示があったが、一般のところに民間企業が間違って行くので、受付は産官学という用語を無理に使わなくてもよいのでは。つまり◎官公庁の方◎民間企業の方◎学校関係の方◎一般の方の4パターンで表示が望ましい。
・新技術促進の課題についての討論をお願いします。
・2F技術情報展示会場が狭い感じがします。ブースや通路幅などが一回り大きい方がゆったりと見て、理解を深めることができます。
・2Fブースをもう少し広くして欲しい。（他2件）
・展示工法は積極的に工事に採用して欲しい。
・初日の準備が8時くらいよりできるようにして開始時間を9時～10時よりできれば、もっと来客数が伸びるのではと思います。
・1日目の開始時間を13:30よりして欲しい。昼食と移動を考えるとこれがベターと思います。
・ホームページにプレゼンテーション予定を入れて欲しい。
・最新技術の紹介をお願いします。（他2件）
・測量技術の紹介をして欲しい。
・できれば、木金の開催にしてもらえるとありがたいです。
・講演をもう少し多くして欲しい（1日2テーマほど）。
・次はもっと長くやって欲しい。
・もっとPRしてください。
・今後も継続して、社会にもっと土木技術の素晴らしさをアピールして欲しい。
・2階展示の通路が狭い。記念講演会場は後方の席も開けて欲しい。 ブースを表示しているパネルは、表裏とも同じ社名とするのではなく表と裏で隣り合っているブース名（会社名を）を表示した方が分かりやすい。「自由にお取りください」と表示されていた九州の地図が無くなった場合は、その表示は案内は撤去しておくべきです。
・多くの来場者が見られましたが、自治体・企業・学校等もっと本フォーラムを視察・見学させる企画も必要と思います。
・一般市民向けに、土曜や日曜日にも開催してはどうでしょうか。自然災害の調査技術や対策工の効果などをアピールできると思います。
・建設技術の向上に資する異業種の参加を希望します。

【ブース出展者】

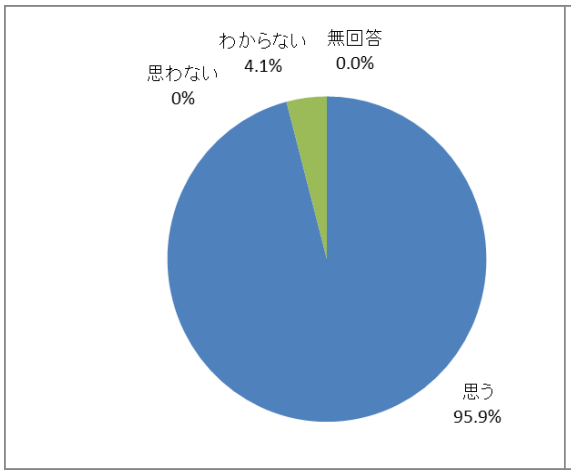
●展示テーマは？



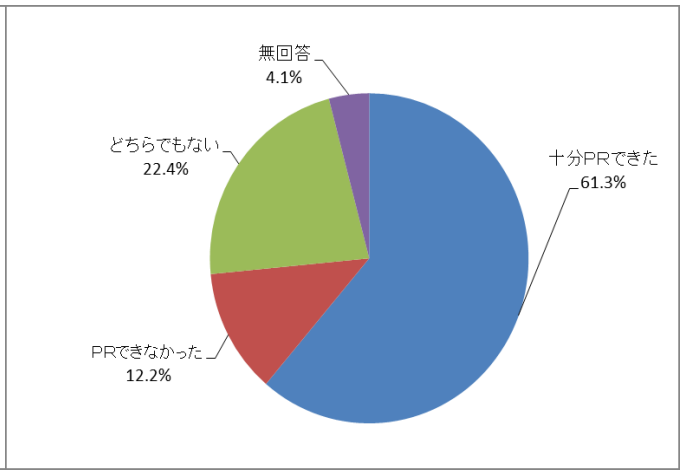
●何で知りましたか？



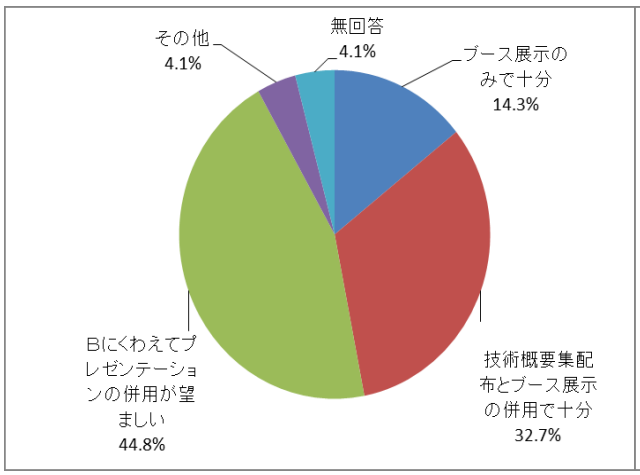
●新技術・新工法をアピールする場として
ブース展示は妥当と思うか？



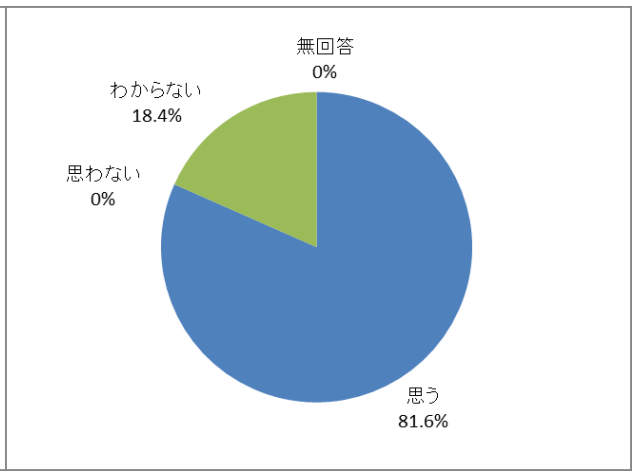
●技術を十分に PR できたか？



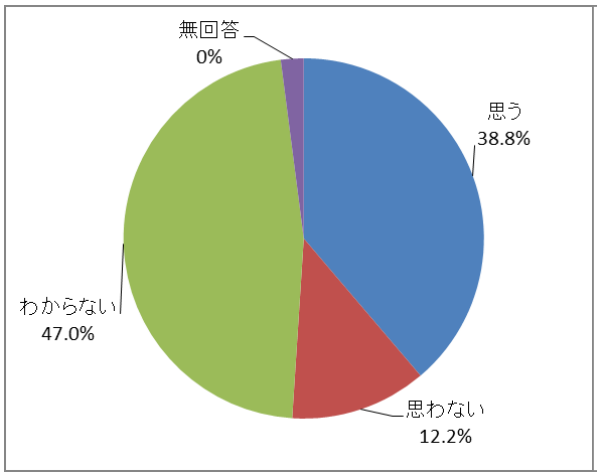
●来場者に技術を理解してもらう方法と
して有効な手法は？



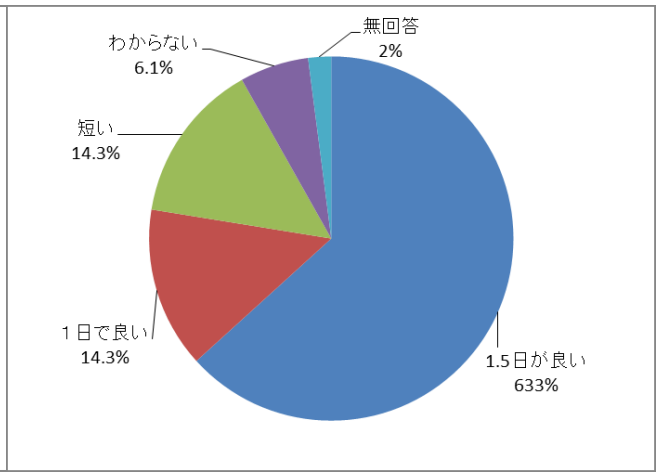
●今後参加したいか？



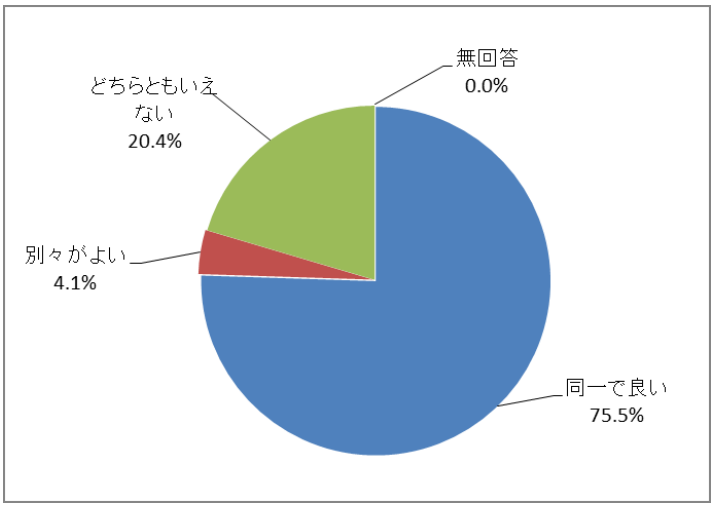
●福岡市・北九州市以外で開催した場合参加するか？



●望ましい開催日数は？



●同一会場について？

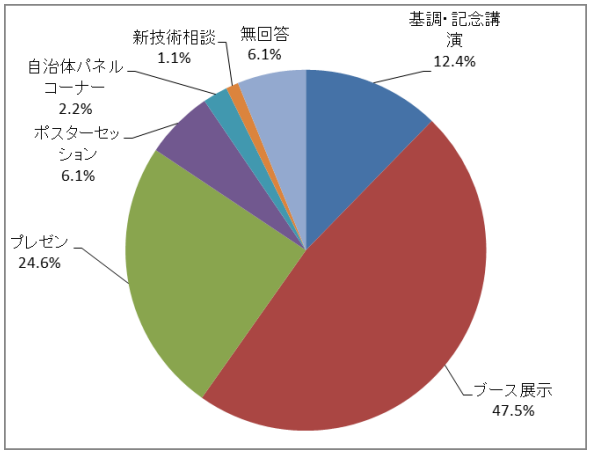


●フォーラムへの主な要望

■ブース展示関連
・搬入時間がもっと欲しい。
・2Fブースが狭い。社名版の表示は両面同一でなく,もっとわかりやすく工夫して欲しい。
・大変満足できる内容でした。ブース代も安くてよかったです。
・展示ブースが他の展示会と比べ狭い。もう少し拡大して欲しい。
・参加費用は、設営費を含め詳細に提示して欲しい。また展示ブースの設営はもっと早くして欲しい。
・プレゼンの進行状況とプレゼンごとの事前案内が欲しい。会場を消灯・閉鎖して講演来場者をかくほするのはいかがなものか！ブース来場者がいる状況を考えると強制は不適切。プレゼン時間は1社15分と募集要項に明記してください。
■集客関連
・発注機関・コンサル・研究機関の来場者増のための工夫して欲しい！
・他県で開催の同種催事の来場者は九州の3～5倍だとか。来場者増の工夫が必要。市町村職員の来場増に向けた働きかけを是非お願いします。
・官の来場者増への工夫を期待します。
・官公庁の設計担当者、現場技術者の積極的な来場を望みます。
・事前にチラシをもっと多くの人に配布して集客の改善をして欲しい。予告なしの消灯は来場者失礼！
・ゼネコンにとっては、発注者の来場が少なく出展効果が小さい。学生の訪問が多いのでリクルート的な効果はあると感じます。一般向けの催しとして、一般が興味を持つ映画会などを取り入れて、一般にアピールする内容にしてはどうでしょう。

【学　生】

●関心を持ったプログラムは？



●印象に残ったプログラムや技術は？（抜粋）

・大成建設のボスポラストンネル関連の展示は、具体的な方法まで詳しく説明してもらえたので展示内容がよく理解できました。
・カラスの撃退方法を発明した人の話が面白かったです。
・コンサルタントの防災に対する様々な工夫が勉強になりました。
・盛土緑地計画や永久緑地にするための種まきなどが印象に残りました。
・記念講演のテーマとなった建設ロボットの必要性、将来性については、人口減少等の観点からよく理解でき、また印象に残りました。
・雑草駆除の仕組みが、大変面白かったです。
・津波被害軽減に関する実演。実際に防護フェンスありとなしとで比較することで、そのフェンスの効果、必要性を感じることができたから。
・建山先生の記念講演→建設現場における無人化施工について興味深い話を伺えて良かったです。
・津波発生装置の実演。何もない時と、フェンスがある時の違いを体験できました。
・記念講演では、普段の講演の時と違い、より実際の建設現場の状況を考慮した技術開発の話を聞けたので良かったです。
・建設機械、パネルや模型を用いて説明してもらえたから。また、企業の人と直接お話しできて、自分の将来を考えるきっかけになりました。
・今の建設業界の事情に非常によく合った話題・情報を知ることができたと思ったから。
・わかりやすい映像で技術の紹介と、たくさん関連の資料を貰えたのがありがたかったです。
・企業の方と直接お話が出来て、また説明がわかりやすく良かったです。
・今後の防災対策に役立つ様々な研究に触れることができた。津波被害を軽減する防護フェンスが印象に残りました。
・様々な技術法の展示があってびっくりしました。
・富士通株式会社の道路パトロール支援サービスが印象に残った。またスマートフォンで揺れを感知するのはすごいと思いました。
・アンカー工法の技術など、学校では教わらなかったことをたくさん知れてためになった。
・北海道の寒地道路についての技術は、地域に密着していてよかった。
・津波の被害の比較の実演の時の装置が世界初といっており、印象的でした。
・測量計算機のアプリが印象に残りました。
・鹿島建設の技術展示。国土技術開発賞を受賞した浮体式仮締切工法の説明を聞いて、このような開発ができる技術者になりたいと思いました。
・京都大学の嘉門先生が来ていただき「建設技術開発への新たな視点」の講演をしてくださり非常にためになりました。